

【施策評価調査】

施策名	1-5-5	水洗化率の向上		81	下水道の接続率(水洗化率)を上げることで、施設の効率的な利用と維持管理及び地域住民の快適な生活環境の向上を目指します。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部上下水道課	担当	業務管理担当		
		リーダー	系井 鉄夫		
環境変化	特になし				下水道の利用促進を図るため、広報活動を充実させます。特に、公共下水道が利用できる地区において、公共下水道に接続していない世帯の解消を目指します。 (2 水洗化率とは、生活排水処理施設が利用可能な人口に対し、実際に利用している人口の割合)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標 : 水洗化率 (%)	平成16年度末 水洗化率	計画	65%	65%	65%	65%	65%
	64.0%	実績	69%	70.90%	73.00%		
指標 :		計画					
		実績					
指標 :		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	実際に下水道を使用している人口 ÷ 下水道を利用可能な人口 = 水洗化率						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	4,048,000	2,019,000	858,000	1,507,000	
	決算	4,755,395	2,045,559	877,522		

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)		
水洗化促進事業費	H21 現計 1,507,000	水洗化率 (%) 73.5 %	水洗化率(下水道処理施設への接続率)を上げることは、下水道事業の経営を安定させるために寄与し、また、下水道への接続が、生活環境の改善・公共水域の水質保全に寄与する。		今後の方向性 (総合評価)
	H22 計画 1,414,000				
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)
	H22 計画				
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)
	H22 計画				
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)
	H22 計画				
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)
	H22 計画				

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	水洗化・未水洗化台帳と台帳図として整備したものを、データベースで作成・整理・管理する。未水洗化者に対しては、水道マスター・地番集成図データ・固定資産データ等を活用し、未水洗化全戸へ水洗化の案内とアンケート調査を行い、更に、個別訪問を実施し、公共下水道が利用できる地区の未水洗化の解消に努める。	
現状水準維持	地区の未水洗化の解消に努める。広報たかねざわに、年2回、町ホームページにも掲載する。		
総合評価	継続的に施策展開がされていると評価する。 後期計画に向け、水洗化率の定義を踏まえた上で、新たな指標の設定について検討すること。		